

「心(外界)と身体(内界)との関係性」を診る

連載
6

―「開放系」の施術法―

心身条件反射療法協会

腰痛患者が来院した場合、

あるカイロプラクターは**背骨**

の歪みが腰痛の原因だとして、

その歪みの矯正を行うかもし

れない。あるカイロプラク

ターは、その背骨の歪みは**筋**

肉の緊張によるものだとして、

筋肉の緊張緩和を目的に施術

を行うかもしれない。あるカ

イロプラクターは、背骨の歪

みを生じさせている筋肉の異

常緊張は、**脳・神経系の機能**

異常であるとして、**脳・神経**

系の機能異常の改善を目的に

施術を行うかもしれない。そ

して、心身条件反射療法(P

CRT)の概念を知っている

カイロプラクターは、**脳・神**

経系の機能異常は、**脳・神経**

系の「学習と記憶」が原因だ

として、**脳・神経系**の再学

習・記憶を促すP CRTを行

うだろう。これらの例は、筆

者自身が一人のカイロプラク

ターとして「閉鎖系」的な療

法から「開放系」的な療法へ

と進化した経緯談に基づいて

いる。

人間は、試験管の中のよう

な閉鎖系の空間では生きてい

く事はできない。人間は常に

外界との関係性の中で食物

物質、意思、情報などのエネ

ルギー交換を繰り返しながら

生かされている。よって、そ

のような有機的、かつ全体的

な関係性の中で生かされてい

る生命体であるという視点で

診ることができない限りは、
本質的な治療とはいえないか
もしれない。

ノーベル化学賞を受賞した

イリヤ・プリゴジンの著書

『混沌からの秩序』のまえが

きで未来学者のアルビン・ト

フラーは以下のように述べて

いる。「宇宙のある部分は機

械のように働くであろうが、

それは閉じた系であり、閉じ

た系は物理世界のほんの小さ

な部分を占めるにすぎない、

と著者は考えている。事実、

われわれにとって興味ある現

象の大部分は開いた系である。

そこでは、環境との間で、エ

ネルギーや物質(さらに情報

も加えてよいだろう)の交換

が行われている。生物学的な系や社会的な系は、確かに開いている。したがって、こ

れらの系を機械論的に理解し

ようという努力は失敗する運

命にある」。P CRTではその

ような「外界と生命」との広

大な有機的パラダイムに基づ

いた本質的な治療法に挑戦し

続けている。

この度、カイロタイムズ様

の紙面をお借りして、六回に

わたってP CRTの概念的な

紹介をさせていただいた。次

回からは、P CRTを実践し

ている先生方からの症例報告

をリレー形式でご紹介させて

いただく予定。なぜ症状が改

善され、なぜ症状が改善され

なかったのかの因果関係も分

かり易くご紹介いただけるの

ではないかと期待している。